

教職課程の目標および、計画

(1) 生活科学科 生活科学専攻 養護教諭コース〔養護教諭二種〕

【目標】

- ①建学の精神である「礼儀・努力・誠実」に基づき、教育者としての資質・能力を身につける。
- ②豊かな人間性や協調性を高めるとともに、教育の専門家としての力量を身につける。
- ③今日の幼児・児童・生徒を取り巻く諸問題を的確にとらえ、それらの問題を解決できる資質・能力を身につける。

【計画】

<1 年前期の到達目標>

- ①社会人として必要な礼儀、努力、誠実さを身につける。
- ②養護教諭としての自己の適性を客観的に理解し、課題を明らかにして自ら学ぶ力をつける。
- ③養護教諭を目指すうえで必要とされる使命や職務について、基本的な理解の上に立ち、自発的、積極的に学ぶ姿勢を身につける。

<1 年後期の到達目標>

- ①学校組織の一員として、協調性や柔軟性をもって仕事ができるために自己の課題を明らかにする。
- ②子供の今日的な健康問題を理解し、その解決のために必要な対策（学校保健計画や保健室経営計画）を立てることができる。
- ③子供の健康課題に応じた健康教育を実践するための指導計画や授業の指導案を作成することができる。

<2 年前期の到達目標>

- ①高い倫理観と規範意識をもち、養護教諭としての職責を果たすうえで必要な力をつける。
- ②学校保健活動の基本計画に基づき、児童生徒の成長や安全、健康づくりを考えることができる。
- ③養護教諭の職務の全体像を理解し、1年次の学びを統合して実習計画を立てることができる。

<2 年後期の到達目標>

- ①養護教諭としての使命や職務について自覚し、自らの課題を明らかにして学び続けることができる。
- ②教育実習の体験を生かし、今日的な学校教育の課題や養護教諭として必要な企画力やコーディネート力を磨く。
- ③2年間の学びを研究論文にまとめ、研究し続けることの重要性を自覚する。
- ④教職実践演習（養護教諭）では、今まで履修した教職課程科目、その他の科目、学生生活での様々な活動をとらえて、学生自身が身につけた教員としての資質能力を確認する。必要に応じて不足している知識や技能を確認し、補う。

(2) 生活科学科 食物栄養専攻 栄養士コース〔栄養教諭二種〕

【目標】

- ①建学の精神である「礼儀・努力・誠実」に基づき、教育者としての資質・能力を身につける。
- ②豊かな人間性や協調性を高めるとともに、教育の専門家としての力量を身につける。
- ③今日の幼児・児童・生徒の現状を取り巻く諸問題を的確にとらえ、それらの問題を解決できる資質・能力を身につける。

【計画】

<1 年前期の到達目標>

- ①「礼儀・努力・誠実」の建学の精神をとおして教育者としての資質を追求し、習得する。
- ②教職に関する科目の教職論、道徳教育の理論と方法を履修し、栄養教諭に必要な教職専門分野を習得する。
- ③教員としての使命感を獲得する。
- ④前期開講栄養士専門科目を履修し、栄養教諭に必要な専門分野を習得する。
- ⑤実験、実習、演習科目をとおして、協調性を身につける。

<1 年後期の到達目標>

- ①栄養に係る教育及び教職に関する科目の発達心理学、教育相談の理論と方法、特別活動及び総合的な学習、生徒指導論、教育の方法と技術、栄養に係る教育に関する科目の学校栄養指導論を履修し、栄養教諭に必要な専門分野の知識等を習得する。
- ②児童生徒への指導力を獲得する。
- ③後期開講栄養士専門科目を履修し、栄養教諭に必要な専門分野の知識等を習得する。

<2 年前期の到達目標>

- ①栄養に係る教育及び教職に関する科目の教育原理・教育経営論、教育課程論、栄養教育実習指導を履修し、栄養教諭に必要な教職専門分野を習得する。
- ②前期開講栄養士専門科目を履修し、栄養教諭に必要な専門分野の知識等を習得する。
- ③学外実習の給食管理実習校外Ⅰをとおして、社会での栄養士の専門分野および社会人として、道徳、協調性、問題解決能力を学び、習得する。

<2 年後期の到達目標>

- ①後期開講栄養士専門科目を履修し、栄養教諭に必要な専門分野の知識等を習得する。
- ②教職実践演習（栄養教諭）では、今まで履修した栄養に係る教育及び教職に関する科目、学生生活での様々な活動をとおして、学生自身が身につけた教員としての資質能力を確認する。必要に応じて不足している知識や技能を自覚し、身につける。

(3) こども教育学科 こども教育専攻 こども教育コース〔幼稚園教諭二種〕

【目標】

- ①建学の精神である「礼儀・努力・誠実」に基づき、教育者としての資質・能力を身につける。
- ②豊かな人間性や協調性を高めるとともに、教育の専門家としての力量を身につける。
- ③今日の子どもの現状を取り巻く諸問題を的確にとらえることができる。また、それらの問題に対応できる資質・能力を身につける。

【計画】

<1 年前期の到達目標>

- ①建学の精神「礼儀・努力・誠実」に基づき、教職、幼稚園教諭とは何かを理解し、子どもの生涯にわたる人間形成の基盤を培う重要な時期を担う仕事であることを理解、認識する。
- ②教科目として、特に保育内容における健康・人間関係・環境・言葉・表現についてしっかり理解し、一

日参加実習において目標の到達を確認する。

<1年後期の到達目標>

- ①教育の大切さと子どもの発達・成長や人間関係等について、さらに理解を深めたうえで教育実習（観察・参加・部分実習）に臨む。
- ②教育実習Ⅰ（観察・参加実習）では、子どもの健康・人間関係・環境・言葉・表現・発達等や教師の役割・仕事について理解する。
- ③幼稚園教諭として、子どもを内面から理解し総合的に指導する力、保育を構想する力、知識、実践力（表現・技能）を習得する。
- ④教育実習Ⅰ（部分実習）では、指導案に基づいた指導をするために実践力を身につける。

<2年前期の到達目標>

- ①1年次で学んだことを踏まえ、教育実習Ⅱ（部分・責任実習）を通じて子どもの心身の発達と子どもとの関わり、幼稚園教諭の役割を確認し実践力を身につける。

<2年後期の到達目標>

- ①実習事後指導や、教職実践演習（幼稚園）において、教育実習をとおして子どもの理解ができるようになったか、不足している知識や技術は何かを改めて確認する。さらに、他の実習生の経験を知ることにより、自己課題の解決に努め幼稚園教諭として広い知識と実践力、専門性を身につけることを到達目標とする。

（4）専攻科 養護教諭専攻〔養護教諭一種〕

【目標】

- ①建学の精神である「礼儀・努力・誠実」に基づき、教育者としての資質・能力を高める。
- ②豊かな人間性や協調性を高めるとともに、教育の専門家としての力量を高める。
- ③今日の幼児・児童・生徒の現状を取り巻く諸問題を的確にとらえ、それらの問題を解決できる資質・能力を高める。

【計画】

<1年前期の到達目標>

- ①教育に対する使命感や情熱をもち、高い倫理観と規範意識のうえで自己の職責を果たす姿勢を身につける。
- ②子供の成長や安全、健康を第一に考え学校保健活動の基本計画を立案することができる。
- ③養護教諭二種免許状を取得時に学んだことを振り返り自己の課題を明らかにする。

<1年後期の到達目標>

- ①今日的な子供たちの健康問題とその背景を深くつかみ、そこから教育の課題を見つけ必要な対策が立てられる。
- ②組織の一員としての自覚をもち、他の教職員と協力して職務を遂行することの重要性を理解し自己の課題を明らかにする。
- ③子供たちの健康・安全を保障するうえで必要な知識や技術に基づいた実践力を高める。
- ④明らかになった課題を追求し養護教諭としての専門性を高める。

<2年前期の到達目標>

- ①自己の課題を明らかにしたうえで、目的をもって教育実習に臨みその課題を実践的に迫及する。
- ②他の教職員、保護者、地域の関係者、関係機関と良好な関係をもち、子供の健康問題の解決に必要な連携を図ることができる。
- ③今日的な学校保健活動の課題に基づき、養護教諭として必要なことは何かを明らかにするために研究活動を行う。

<2年後期の到達目標>

- ①養護教諭に必要な、保健管理能力、マネジメント力、コーディネート力、健康教育力などが身についたか、自己分析を行い、課題を明らかにして弱点を克服する。
- ②教員として高い倫理観と責任感をもち子供から学び共に成長しようとする意識をもつ。
- ③修了研究として、2年間の研究をまとめ、成果と課題を明らかにする。
- ④常に学び続ける姿勢をもち、養護教諭としてのより高い専門性と実践力を身につける。
- ⑤教職特別実践演習（養護教諭）では、今まで履修した教職課程科目、その他の科目、学生生活での様々な活動をとおして、学生自身が身につけた教員としての資質能力を確認する。必要に応じて不足している知識や技能を確認し、補う。

(5) こども教育学科 こども教育専攻（通信教育課程）〔幼稚園教諭二種〕

【目標】

- ①建学の精神である「礼儀・努力・誠実」に基づき、教育者としての資質・能力を身につける。
- ②豊かな人間性や協調性を高めるとともに、教育の専門家としての力量を身につける。
- ③今日の子どもの現状を取り巻く諸問題を的確にとらえることができる。また、それらの問題を解決できる資質・能力を身につける。

【計画】

<1年次の到達目標>

- ①建学の精神「礼儀・努力・誠実」に基づき、教職とは何かを理解し子どもの生涯にわたる人間形成の基盤を培う重要な時期を担う仕事であることを理解、認識する。
- ②教職に関する基礎的理論、幼稚園教育要領のねらいや内容について理解する。
- ③教育そのものについてを理解し、特に幼児教育における5領域（健康、人間関係、環境、言葉、表現）について理解に努める。各領域に対する理解を深める一方、教育と養護のありかた、また5領域の相関を理解した上で領域を個別にとらえるのではなく、総合的に把握し幼児教育の理解を深める。

<2年次の到達目標>

- ①幼児の発達、成長や人間関係等について理解を深め、幼児教育の重要性を認識する。
- ②教育の重要性と子ども理解を深めた上で、観察実習に臨む。
- ③幼稚園教諭として、幼児を内面から理解し総合的に指導する力、保育を構想する力、知識、実践力（表現・技能）を習得する。

<3年次の到達目標>

- ①幼稚園教諭としての実践力や人間性、教諭同士の関係性および保護者との関係性および地域社会とのつながりを理解したうえで責任実習に臨む。

- ②教育実習をとおして、こどもの理解ができるようになったか、また不足している知識や技術について把握する。
- ③教職実践演習（幼稚園）においてはこれまでの授業および各自の学びを振り返り、より実践的な教育活動が行えるための力を養う。学生相互と討論等を通じて、自らの教育力を確認し、自己課題の明確化を目的とする。